



# 開かれた大学とインターネットの今

教育の質を高めるために、ITをいかに活用するか

**杉本 誠司** ・株式会社ニワンゴ 代表取締役社長  
関西大学客員教授

**楠見 晴重** ・学長

再生される動画にコメントを付けられる「ニコニコ動画」は登録会員数3300万人以上、1日のページビュー約1億8000万、コメント数は1日約100万に上る。この日本最大級の動画サービスを生み出したニワンゴの杉本誠司社長が明かすインターネットや若者たちの今は、これからの大学教育のあり方に対する示唆に富んでいる。



「ニコニコ動画」のトップページ

## ◆ニコニコ動画は動画サービスではない

**楠見** ニコニコ動画はなかなか面白いシステムですね。書き込みができるというのは素晴らしい。

**杉本** ありがとうございます。今でこそそう言ってもらえる時代になりましたが、サービスを開始した当初は、動画の上に違う要素であるコメントが表示されるのを見て、「これは一体なんなんですか?」と言われることが多かったですね。

**楠見** どのような方が主に利用されているのですか?

**杉本** 登録者は3300万人を越えましたが、利用者像に一貫性がなく、面白いと感じていることもさまざま。その状態が、メディアとして新しい形だと感じています。

**楠見** どのようなところがそんなに多くの方に支持されているのでしょうか?

**杉本** 見た目がユーチューブの画面にコメントが載っているようなものなので、ユーチューブみたいな動画サービスという印象を持たれる方が多いのですが、実は私たちはそう思っていない。もちろん、形態からしたら動画サービスですが、動画コンテンツを1つの軸に、見ている人たちが思っていることをしゃべり合い、同じものを面白いと思える人が集まってコミュニティを作っている、その行為そのものが、サービスのコアだと思っています。

## ◆国語力がニコニコ動画を面白くする

**楠見** 選挙前には政治討論会をやっていましたね。以前ならテレビで討論していた政治家が、活動の場をインターネットにシフトしてきているように思われますが。

**杉本** 政治家の方々は有権者がどこにいるのかということに対する感覚が非常に高い。今はテレビ以上の訴求力をインターネットが持ち始めていると、討論番組に出られる現職議員の方、候補者の方が感じられているのかもしれませんが。ライブストリーミングの場合には、同時に数万人がご覧になり、その視聴者からのコメントがライブで表示されます。出演者の方々にはなるべく視聴者からのコメントを見ていただくようにしています。出演者の発言に対して、「そりゃ違うよ」という反論もあれば、肯定する意見もあります。コメントを見ていただいた上で、それに対する説明や再反論をしていただくことで、よりライブ感やリアリティがある有権者との直接対話の場が実現します。これは決してテレビではできない環境だと思います。

**楠見** ニコニコ動画のようなものは海外にもあるのですか?

**杉本** あまりないですね。ニコニコ動画のようなスタイルをまねてもあまりはやる環境を作れないというのが実情のようです。これは少し私の個人的な見解ですが、日本人は国語力が非常に高い。高いゆえに、言葉遊びを楽しんだり、二次的な創作をしたりといった遊びを昔からやってきた民族だと思うんです。ニコニコ動画上のコミュニケーションも、テキストで情報を伝えることを遊びにして楽しんでいることが結構多い。たとえば、楠見先生が出演されて、動画の最後に「皆さん、どうもありがとうございました。」と挨拶されたとします。そうすると、きっと画面上が8の数字で埋まります。これは、「パチパチパチ」の拍手を表していて、スタンディングオベーションのお決まりの表現なんです。こういう流行がニコニコ動画上ではたくさん見て取れます。それがコミュニケーションの中からすべて起こってくるということが見ていて面白いです。



ライブストリーミングで配信された「ネット党首討論会」。視聴者からライブでコメントが表示される

## ◆世界中の大学の講義をネットで学ぶ

**楠見** 大学ではITを使っていかに授業を効果的に行うかといった取り組みを行っています。教育の質を高めるためには一方通行の授業ではなく双方向で行う。インターネットを利用することで、教室だけでなく遠隔地でも授業を受けられるなど、いろ



幕張メッセで開催された「ニコニコ超パーティーII」。観客とネット視聴を合わせ、2日間で111万人を動員



杉本 誠司(すぎもと せいじ)  
1967年東京都生まれ。気象情報会社の株式会社ウェザーニューズなどを経て、2003年株式会社ダウンゴに入社。モバイル向けのビジネスツールや電子書籍サイトなどの新規事業を担当し、メールポータルダウンゴの立ち上げに携わる。2007年12月社長就任。動画サイト「niconico(ニコニコ動画)」の運営指揮にあたる。株式会社ダウンゴ広報部長、株式会社ダウンゴコンテンツ ニュースプラットフォーム部長、株式会社ニコニコ代表取締役社長。

基本的にコンテンツをオープンにしていることで、逆に価値が高まるだろうと考えています。それはエンターテインメントはもちろん、カリキュラムであるとか、学術的な内容になればなおさらではないでしょうか。

いろいろなことがITを使うことでできるようになってきました。文科省も今まではフェイス・トゥ・フェイスの授業でなければ単位を認めないとしてきましたが、だんだんeラーニングなど対面型ではない授業を取り入れた場合でも単位を認める方向へと変わってきています。

また、世界的な潮流としてオープンコースウェア(OCW)など、講義をインターネットを通じて無償で公開する活動が広がっています。マサチューセッツ工科大学から始まったこの活動は、その後世界に広がり、我が国でも多くの大学が取り組んでおり、本学も日本オープンコースウェア・コンソーシアムに加盟しています。OCWでは例えば、アメリカの有名大学の講義をその大学の学生でなくても、世界中、誰でも無料で見ることができます。ただし、教育的な指導は通常受けることができず、単位を取得したいとなると、学費を納め、指導を受け、講義の内容をきちんと習得したかの認定を受けなければなりません。アメリカの大学もアジアの主な大学でもそういう方向に進み、日本もそうなっていくでしょう。そうならないと、大学はおそらく、世界からそっぽを向かれてしまいます。このような世界の大学の動きに対して、ニコニコ動画のようなサービスにはヒントがあると、お話を伺いながら感じていました。

杉本 私たちの考え方としては、基本的にコンテンツをオープ

ンにしていくことで、逆に価値が高まるだろうと考えています。それはエンターテインメントはもちろん、カリキュラムであるとか、学術的な内容になればなおさらではないでしょうか。これまでの大学教育の考え方としては、コンテンツそのもの、つまり講義自体が課金対象になっていましたが、今のお話では講義から得られる成果物に対して課金をしていくというように、課金対象が変わっていることがポイントだと思いました。

講義を全部あるいは全部でなくても、それが求める人にとって求められている内容なのかどうかわかるレベルまで公開していくことは、その付加価値を欲しいと思っている人の意欲を最大限に引き上げる効果があると思います。これは、多くの大学に積極的にやっていただきたいと思います。そのために、仮に私たちのツールがお役に立てるのであれば、それはぜひ活用していただきたいと思います。

#### ◆IT活用で学修時間の確保

楠見 世界の中で日本の大学生は勉強時間が少ないとか、入学するまでは勉強しますが、入ってからはあまり勉強しないと言われる。学生の学修時間をいかに確保するかも大きな課題だと感じています。学生にはやりたいことがたくさんあります。教室ではもちろんしっかり教えますが、仮に出席できなかったら、例えば、動画配信を利用して代わりにどこでも授業が受けられる、夜中でもいつでも受講できるようにするというやり方も考えられます。そのような工夫によって、学修時間を確保し、教育の質を高めていく。こういうところにもインターネットの活用を考えていかなければならないでしょう。

ITの活用では、eラーニングシステムの導入も進めていきたいと考えています。本学には独自で開発したeラーニングシステムがありまして、これがなかなか評判が良いのです。開発した冬木正彦名誉教授は、平成24年度文部科学大臣表彰科学技術賞を受賞しました。

#### ◆授業中にツイッターで発言させる

楠見 授業に対して学生がどのように感じているのか、ニコニコ動画のようにリアルタイムでコメントが届くようにしたら授業は変わるかもしれませんね。教える側からしたらしんどいかもしれませんが。

杉本 双方の緊張感が高まるので、授業の質は上がると思います。

楠見 全部の授業でなくても、何回かに1度そのようなことをやるだけでも効果はありそうです。学生からもどんどん発言が出てくるような双方向性の高い授業をやりたくても、学生はなかなか手を挙げません。しかし、インターネットを上手に利用すれば、学生からいろいろなコメントが返ってくるのが期待できます。

杉本 私も何回かインターネットを使っての発言を試したことがあります。「講義の最中でも構わないので、ツイッターを使って書き込んでください」と伝え、そのコメントをみんなが読めるように投影してもらおうのです。感想でも質問でもなんでもい

い、私がピックアップして対応するという流れをつくると、学生は発言しやすくなるようです。

楠見 日本人は手を挙げて堂々と自分の意見を主張する訓練を受けていないんですね。どちらかといえば小学1年生の時が一番手が挙がって、学年が進行して行くにつれてだんだんと挙がらなくなっていく。目立つのが良くないという雰囲気が日本ではあるんです。それが大学生になると極端に手を挙げなくなってくる。

それに対して、海外の授業ではどんどん質問が出てくる。くだらないことでも、気が引けるなんてことはないんです。今、グローバルな人材の養成とよく言われます。グローバルな人材に求められるのは、やはりコミュニケーション力です。ただ単に語学を話せることではなく、人前で堂々と発言できる力を付けるまで、ITの技術を使っていくというのも、グローバルなコミュニケーションを育てていくには役に立つと思います。

杉本 ツイッターを使って発言を促すと面白いのは、社会人を対象にしたシンポジウムでやると、全然発言が出てこないんです。特定の方が少しづつよく程度で、基本的には私の話している内容をリツイートするばかりなんです。学生を対象にしたときは、質問も出てきますし、こう思うという意見も出てきます。そういう意味では学生の方が積極的だし、ピュアだし、自分の情報を持っているという印象があります。

楠見 今の若い人は物心ついた頃から周りにネット環境がありますから、ツールを使うレベルではものすごく高いと思います。ツイッターの使い方にしてもリテラシーが高いのではないのでしょうか。その若い人の持つ感覚に対して昔の授業の流れではなく、変えていかないといけないことがおそらくあるのだと思います。今の人は新聞を読まない、活字媒体を読まないと言われる。しかし、通学の途中でスマホを見たりして、彼らはどこかで情報を得ているのです。

杉本 インターネットのほとんどは実はテキストデータですから、テキストそのものとは触れ合っているのです。

楠見 私の研究室に新聞を置いているのですが、特定の学生しか読みません。しかしながら、結構知識を持っている学生は多い。いろいろな媒体をうまく活用しているのでしょう。総じて40、50代に比べ、今の20代は多様なメディアを活用しているという感じがします。

#### ◆意味の分からないことこそ意味がある

楠見 ところで、ニワゴの親会社のダウンゴという社名はどのような意味があるのですか？

杉本 今、世の中は、1つ1つのことがらについて、意味を求められます。それは既存の価値観の中で存在意義を求められているわけですが、そこから外れたものは意味の分からないこと、訳の分からないこととされてしまう。しかし、そういうことは逆説的に考えると非常にクリエイティビティに溢れているし、新しい可能性を含んでいると考えることができます。人に理解されない、人に説明しても意味を持たないことに対しては、私たちはすごく意味を感じています。頓知みたいな話ですが、そ



楠見 晴重(くすみ はるしげ)  
1953年大阪府生まれ。78年関西大学工学部土木工学科卒業、81年同大学大学院工学研究科博士課程後期課程中途退学。82年関西大学工部助手。90～91年英国 Imperial College 留学。関西大学専任講師、助教授を経て、02年教授。07年環境都市工学部教授となり、同年4月から学部長に。09年関西大学学長に就任。一般社団法人日本私立大学連盟常務理事、公益財団法人大学基準協会理事、国土交通省道路防災ドクター、土木学会フェロー会員。主な共編著書に「地圏環境情報学 地下を診る最先端技術」「アジア古都物語 京都一千年の水脈」など。

例えば、動画配信を利用して代わりにどこでも授業が受けられる、夜中でもいつでも受講できるようにするというやり方も考えられます。そのような工夫によって、学修時間を確保し、教育の質を高めていく。

して、ダウンゴが設立された当初、検索しても検索結果が出てこない言葉を探した時に、行き当たったのがダウンゴ。諸説あるのですが、これが社名の由来です。

楠見 お話を伺って、国内外に全く無かったものを創り出した独創性を非常に感じました。ニコニコ動画の今後はどうなっていくのでしょうか？

杉本 ニコニコ動画はユーザー一人一人にとって自分が自分であることを認識できる場であり、拠り所にされています。彼らは自分が自分であることの情報を発信しそれを人に認められる、アウトプットの場所があるということに、非常に喜びを感じている。極端な言い方をすればそこに生きる活力を見いだしている。それが、インターネットの中で本当に良いのかは分かりませんが、今後も若い方を中心にそういった場所を求める欲求があるのならば、自分自身の存在を支えるあるいは他人と一緒に支えていく場所として、私たちはニコニコ動画というサービスを作っていく。明日の活力を養っていただける場所として、より多くの人に関わっていただきたいと思っています。

楠見 今後いろいろなことができそうですね

杉本 はい。しかし、ニコニコ動画は結局サービスなりツールなので、使っていただく方がどうするかがポイント。さまざまな方々に有効活用をしていただきたいと思っています。